

2017年2月26日講習会開催

「登山で事故！ さあ どうする！！」

午前：講師：恵秀彦氏・・・MFAインストラクター、日山協遭難対策委員

午後：講師：渡邊浩氏・・・日本赤十字社救急法指導員、日本体育協会山岳スポーツ指導者

安全登山委員会主催による安全登山講習会「登山で事故！さあ どうする！！」が平成29年2月26日（土）、9：00～16：20、大宮の川鍋ビル8階会議室にて開催された。会場には日本山岳会員（19名）及び一般登山者（6名）を含む計25名の登山愛好者が集まった。講習は午前の部と午後の部に分かれ、午前の部は恵秀彦氏に、午後の部は渡邊浩氏に講師を依頼した。午前では、救急救助の手順や怪我の応急手当をパワーポイントの映像で説明した後、グループに分かれて、二つのザックをつなぎ合わせ担架を作り、負傷者を運んだり、サムプリントを利用して、骨折した足や腕を固定する方法を学んだ。その後救助実演として、登山道から転落しけがを負った滑落者の救出を、救助の手順から怪我の応急処置、搬送までを行うことが出来た。午後の部は、心肺蘇生法の練習を、人形を使って胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返し、AEDを人形の体に装着しての実技を学んだり、毛布を利用して担架を作り傷病者を搬送する方法を学んだ。シュミレーションは倒れた仲間を毛布の担架に乗せて山小屋まで運び、呼びかけに反応のなくなった傷病者に心肺蘇生をする実技が行われた。講習終了後は、出血と心肺停止の時の優先順位は？（まず心臓マッサージをする。）や止血方法など多くの質問が参加者から寄せられた。

